



毎月21日号は、「すぎなみ学倶楽部」から
ちょっといい話をお届けします。



すぎなみ学倶楽部HPへ

まちと人をつなぐ コミュニティカフェ

区内には、小説にも登場する老舗の喫茶店や、子ども連れでも安心してくつろげるカフェなど、まちの雰囲気合った個性的な喫茶店がたくさんあります。中でも、「地域で何か始めたい」という方にぜひ訪れてほしいのが「コミュニティカフェ」と呼ばれる地域密着型の喫茶店です。おしゃれな空間でコーヒーを楽しみながら、まちづくりや地域活動の情報を得られる、そんなお店を2軒紹介します。

まずは、西武新宿線上井草駅南口から3分ほど歩いた所にある「genro & cafe」。やわらかな雑木の緑に包まれたスタイリッシュな外観で、2006年に杉並「まち」デザイン賞を受賞しました。オーナーは文具デザイナーで、カフェにはしゃれた和テイストの文具ショップを併設。株立ちの雑木を植えて緑のまちづくりを

進めるグループの活動拠点でもあります。大きな窓から木漏れ日の差す店内でパスタのランチを味わってみませんか。

もう一軒は「with遊」。荻窪駅南口、荻窪体育館の近くにある、家庭的な味のチーズケーキが魅力の喫茶店です。その前身はなんと56年続いた老舗の銭湯。「地域の遊び場でありたい」との思いから作った30人収容の多目的ホールは、いつも音楽・文化サークルやボランティア団体の活動でにぎわっています。友人宅を訪ねるような気軽な気分でカフェスペースに寄れば、気の合う地

域活動仲間に出会えるかもしれません。

ウェブサイトすぎなみ学倶楽部では「杉並の喫茶店」コーナーで、選りすぐりのカフェを紹介しています。その数、30店舗以上。お気に入りのお店を探してください。(な)



ウェブサイト
もあるよ!

すぎなみ学

検索

すぎなみ学倶楽部ホームページ▷B級雑学▷杉並の喫茶店▷(4)地域密着型喫茶・コミュニティカフェ

園産業振興センター産業観光係 ☎5347-9138



毎月21日号は、「すぎなみ学倶楽部」から
ちょっといい話をお届けします。



すぎなみ学倶楽部HPへ

昭和史に名を刻む 荻外荘

荻窪駅の南側、大田黒公園近くに広がる
静かな住宅街。その一角に、日本が戦争へ
踏み出す激動の時代に首相を務めた近衛文
麿の旧邸、「荻外荘（てきがいそう）」があ
ります。

荻外とは「荻窪の外」という意味で、政
界の重鎮・西園寺公望に
よって名付けられました。
広い敷地には今も建
物の一部が残り、当時か
らあった大きなクスノキ
が静かに荻窪の地を見下
ろしています。この建物
は、明治神宮、築地本願
寺などを手掛けた建築
家・伊東忠太の設計。昭
和初期の独特な家屋とし
て文化財的な価値があり
ます。

昭和12年（1937年）、近衛は、大正天皇の
侍医だった入澤達吉博士からこの邸宅を譲
り受けました。この前年の2月26日に、一
部の陸軍将校たちが政府転覆を狙って要人
の官邸や私邸を襲撃した二・二六事件が勃

発。現在の上荻2丁目にあった陸軍教育総
監・渡邊錠太郎の私邸が襲撃されるなど、
杉並区にも時代の大きな波が押し寄せてい
ました。

近衛は、太平洋戦争が終結し、自身が亡
くなる昭和20年（1945年）まで荻窪に住み
ました。荻外荘は、米英
との戦争を回避しよう
とした近衛首相の下、「戦
争拡大か撤退か」とい
う壮絶な議論が行われ
た場所として昭和史に
その名を刻んでいます。
この会談には、東條英
機（陸軍大臣）、有馬
頼寧（大政翼賛会事務
局長）など、昭和史の
重要人物が顔を揃



歴史をかんじろや

ウェブサイト
も見るよ!

すぎなみ学

検索

えていました。ウェブサイト「すぎなみ学
倶楽部」で、荻外荘の歴史や、杉並で起き
た二・二六事件を詳しく紹介していますの
でご覧ください。

荻外荘は、今後、区立公園として整備す
る予定です。 (な)

すぎなみ学倶楽部ホームページ▷杉並の歴史を学ぶ▷記録に残したい歴史(二)運命の宰相・近衛文麿と荻外荘

産産業振興センター産業観光係 ☎5347-9138



毎月21日号は、「すぎなみ学倶楽部」から
ちょっといい話をお届けします。



すぎなみ学倶楽部HPへ

歴史情緒ゆたかな 杉並の神社を訪ねる

今年は、初詣に出掛けましたか？ 1年のスタートに神社を訪れ、ご利益を願った方も多いのではないのでしょうか。

杉並区には、奈良時代に創建されたと伝えられる天沼熊野神社をはじめ由緒ある神社が多数

あり、地域の守り神として親しまれています。それぞれに、古来、大切に伝えられてきた貴重な文化財が残され、地域の歴史を今に伝えています。例えば、高井戸西の第六天神社には、江戸時代中期の明和8年(1771年)と刻まれた狛犬(こまいぬ)が鎮座し、今なお、ユーモラスな表情で参拝者を迎えてくれます。ちな

みに、大宮八幡宮にも同じ年の銘が入った狛犬があり、これらの像は屋外に安置された狛犬としては区内で最も古いものとして知られています。クルッと巻き上がった頭の毛や立派な尻

尾が愛らしい狛犬たちが、約240年もの長い年月、鳥居をくぐる杉並の人々のどんな願いを聞いてきたのか思いをはせるのも楽しいですね。

また、幕末から大正時代にかけて、神社の祭礼では、地域の若者たちが米俵の2倍以上もある石を持ち上げて力を競い合

う余興が行われていました。区内各地の神社には、当時の力自慢たちが担ぎ上げた「力石」が奉納されています。もっとも重い力石は73貫目。これは、なんと約274kgに相当します。この石は宮前3丁目の春日神社の鳥居横で見ることができます。

ウェブサイトすぎなみ学倶

楽部では、「杉並の歴史を学ぶ/すぎなみご利益さんぽ」や「駅別まち自慢」のコーナーで、区内の寺院・神社の歴史や見どころを紹介しています。ぜひ、ご覧ください。(な)



ウェブサイト
もあそびよ!

すぎなみ学

検索



69

毎月21日号は、「すぎなみ学倶楽部」から
ちょっといい話をお届けします。



すぎなみ学倶楽部HPへ

すぎなみの おめでたい地名、永福

昭和7年に杉並町、和田堀町、井荻町、高井戸町の4町で成立した杉並区。昭和44年には新住居表示への移行が終わり、町名も今の私たちが目にするものになりました。しかし、杉並の古来の地名にも趣のあるものが見られます。どのような名か、ご存じですか？

町名に残らなかった地名には、遅野井(現在のの上井草付近)、成宗(大宮、成田西、成田東のそれぞれ一部)、宿町(桃井、善福寺、上荻、西荻北のそれぞれ一部)などがあります。また八成(千川上水北側)、神明(南荻窪2~4丁目付近)、馬橋(梅里2丁目~阿佐谷北5丁目付近)のように、神社、学校、公園などにその名をとどめるものもあります。

古くからの地名には、とてもおめでたい名前もあります。それは「永福町」。
今年、その福名を活かしたブランド力向上のための試みが始まりました。シン

ボルマークを一般公募し、決定したマークを活かして既存商品を縁起のよいギフトとして再デザインしたり、新商品を開発したりし、商店街独自のおめでたいラッピングもできました。

老舗和菓子店の「永福まんじゅう」、全国チェーン店の永福町店グッズ、特注アクセサリー、大安吉日など縁起を担ぎたい時期に販売されるパンなど手頃な品が用意されています。これらのおめでたい商品は、永福町駅周辺・南側のお店で扱われていて、他にもいろいろとアイデアが広がっ



ています。
暮れも押し迫るこの頃、新年のごあいさつ、ご進物に地元杉並のおみやげはいかがでしょうか。ウェブサイトすぎなみ学倶楽部の「杉並の地名」で古い地名に思いをはせた後は、「杉並みやげ」のコーナーをぜひご覧ください。(小)

すぎなみ学倶楽部ホームページ▷杉並の歴史を学ぶ▷杉並の地名

圃産業振興センター産業観光係 ☎5347-9138



毎月21日号は、「すぎなみ学倶楽部」から
ちょっといい話をお届けします。



阿佐谷の街の お笑い芸人さん

すぎなみ学倶楽部HPへ

意外かもしれませんが、阿佐谷はお笑い芸人さんと縁が深い街です。多方面の活躍で大人気のお笑いコンビ『爆笑問題』が所属するプロダクションは阿佐谷にあり、地元の小劇場を舞台に、若手・中堅の芸人による「お笑いライブ」を定期的に開催しています。また阿佐谷の街のあちこちにあるライブハウスは、芸人志望の若者たちにとって絶好の修業の場。観客の反応がダイレクトに伝わる小さな空間で、毎夜、互いのネタを競い合いながら、明日のデビューを目指しています。

そして、今、阿佐谷の地元お笑い芸人と言って名前が浮かぶのが、テレビやラジオなどで活躍中の『阿佐ヶ谷姉妹』（上写真）です。10年以上、阿佐谷在住という二人の地元知識はなかなかのもので、北口松山通り商店街にある老舗のお煎餅

屋さんやイタリアンジェラートのお店、舞台衣装を買っている駅前ダイヤ街の婦人服店など、なじみのお店がたくさんあるそうです。ちなみに『阿佐ヶ谷姉妹』のコンビ名を名乗るようになったのも、デビュー前から通っている行きつけのうなぎ屋さんからのアドバイスがきっかけだったとか。商店街を歩けばどこに行っても声をかけられるという二人は、その名の通り、阿佐谷の地元に着する「ご当地」芸人と言えるかもしれません。



ウェブサイト
もあるよ!

すぎなみ学

検索

ウェブサイトすぎなみ学倶楽部では、特集「阿佐ヶ谷姉妹と阿佐谷を歩く」や、芸能プロダクション社長で、爆笑問題の太田光さんの妻でもある太田光代さんのインタビューなど、阿佐谷とお笑い芸人さんの関わりが分かる楽しい記事を掲載しています。ぜひご覧ください。（な）



毎月21日号は、「すぎなみ学倶楽部」から
ちょっといい話をお届けします。



すぎなみ学倶楽部HPへ

杉並発祥のスポーツ ガーデンゴルフ

ガーデンゴルフは、ビリヤードの玉を
ゴム製の専用クラブで転がし、カップに
入れるまでの打数を競うパターゴルフで
す。公園や広場など、自然の地形を活か
したコースで行うのが大きな特徴で、木
の根や落ち葉がトラップとなり、勝負を
盛り上げることもあります。

このユニークな競技
の生みの親は、区内在
住の岩崎保さんです。
自宅の庭で、お子さん
が地面の穴にビリヤード
玉を入れて遊んでいる
様子を見て思いついた
とのこと。岩崎さんは、
東京都や外務省、
各国大使館に働きかけ、
国際ガーデンゴルフ
協会を発足させました。
こうして杉並発祥の
スポーツは、国内のみ
ならず、海外にも愛
好者を増やしています。

ガーデンゴルフの
魅力は、身近な場所
をコースにできる手
軽なところ。また、

3、4人のグループ
でプレイするので、
メンバー間に交流が
生まれる楽しみもあ
ります。違う家族の
親と子どもが組ん
で、仲良くコースを
まわる姿が見られ
るのもガーデンゴ
ルフならではの競
技の様子は、「すぎ
なみ学倶楽部」ホ
ームページ

のスポーツコー
ナーでレポートし
ていますので、ぜ
ひご覧ください。

9月には蚕糸の森
公園で、ビッグイ
ベント「国民体育
大会デモンスト
レーションとし
ての行事」が行
われました。この
日の早朝、2020
年オリンピック開

催地が東京に決
定！ 集まった参
加者やスタッフか
らは、ガーデン
ゴルフを盛り上
げよう、たくさ
んの人たちと楽
しもうという雰
囲気が伝わって
きました。みな
さんも杉並発祥
のスポーツに挑
戦してみませんか？
(西)



ウェブサイト
もあるよ!

すぎなみ学

検索



毎月21日号は、「すぎなみ学倶楽部」から
ちょっといい話をお届けします。



すぎなみ学倶楽部HPへ

街並みにとけ込む アートギャラリー

イラスト、オブジェ、しゃれた器やアクセサリーなど、見ているだけで楽しく、人生に豊かさを与えてくれるアートたち。杉並の街には、そんな作品と出会える、小さくても魅力的なギャラリーがあちこちにあります。

街並みにとけ込んだ行まいでありながら、足を踏み入ると、そこはオーナーこだわりのアート空間。ぜひ、あなたも散歩の途中で立ち寄ってみませんか。

「アート作品に囲まれて、ゆっくりコーヒーを楽しみたい」そんな方には、西荻窪駅北

口から10分ほど歩いた住宅街の中にあるギャラリーカフェがおすすめです。普通の住宅を知り合いの建築家と相談して改築したギャラリーは、水をたたえた四角い池を臨む心地よい空間が魅力。ナチュラルな雰囲気のアート展示を楽しみなが

ら、併設するカフェでくつろぎの時間を過ごすことができます。

友人へのプレゼントを探しているという方に訪れてほしいのが、阿佐ヶ谷駅北口松山通りにあるアートショップ。シンプルな真っ白い店構えに魅かれて中に入ると、普段の暮らしに使える、こだわりの陶器やアクセサリーが並んでいます。自ら立体造形を手がけるオーナーが「作り手の手しごと」にこだわって選んだ品々は、日常生活にアートを取り入れたいという方にピッタリ。

お気に入りの一品が見つかるはず。ウェブサイトすぎなみ学倶楽部では、今回ピックアップした2店の情報のほか、杉並区内のギャラリーやアートショップを多数、紹介しています。ぜひご覧ください。(な)



ウェブサイト
もあそびよ!

すぎなみ学

検索



毎月21日号は、「すぎなみ学倶楽部」から
ちょっといい話をお届けします。



すぎなみ学倶楽部HPへ

杉並の公園で 防災を考える

9月1日は、防災の日です。震災時の避難ルートを家族で話し合っていますか？ 大地震のときは、建物倒壊や火災で行く手を阻まれる場合があります。必ず複数の避難場所を確認しておきましょう。

真っ先にチェックしておきたいのが、小中学校の場所。いざ震度5強以上の地震が発生したときは、全ての区立小中学校に震災救援所が設置され、避難の拠点になります。

もう一つ、重要な避難場所になるのが公園です。一時的に火の手から身を守る「広域避難場所」に指定されている大きな公園は、さまざまな防災機能が備わっています。例えば、おととしの4月に防災公園としてオープンした桃井原っぱ公園には、外側を囲む歩道と公園の間に塀がありません。これは、どの方向からでも公園に避難できるようにするための工夫です。普

段は子どもたちが元気に遊ぶ原っぱ広場も、緊急時にはヘリコプターの離発着場になります。さらに、さりげなく置かれた木製ベンチは、災害時には炊き出しに使う「かまど」に早変わり。くつろぎスペースにしているベンチが、実は防災施

設というのは驚きです。この「かまどベンチ」は柏の宮公園や和田堀公園などにもあります。

広々とした公園も、震災時には人であふれることが想定されます。公園内の特定の場所を家族の集合ポイントとして決めておくことも大切です。ぜひ、こ

の機会に実際に公園に出かけて、防災について考えてみてはいかがでしょうか。

ウェブサイトすぎなみ学倶楽部では、防災についての情報を「知っておきたい杉並区の取組と防災対策」のコーナーに掲載しています。ぜひ、ご覧ください。

(な)



ウェブサイト
もあそびよ!

すぎなみ学

検索



毎月21日号は、「すぎなみ学倶楽部」から
ちょっといい話をお届けします。



すぎなみ学倶楽部HPへ

夏の風物詩、 セミを観察しよう！

セミの鳴き声を聞くと「夏が来た！」と実感する方も多いのではないのでしょうか。

セミという虫はとても奥が深く、小学生の自由研究の課題にもピッタリの様です。例えば鳴き声だけ観察してみても、いろいろな特徴を発見できます。「ミンミン」と鳴くのはミンミンゼミ。アブラゼミは「ジージー」、ニイニイゼミは「チーチッチ」多彩です。また、鳴く時間帯もさまざまで、クマゼミは日の出前から午前いっぱい鳴いていることが多く、ヒグラシは明け方と夕方によく鳴きます。

杉並区内の緑地でも多くの場所でセミを見つけることができます。例えば、和田堀公園のコブシの木やアキニレの木ではアブラゼミが毎年さかんに鳴いているので、おすすめの観察スポットです。セミを捕獲するために特別な道具は必

要なく、手で簡単に捕まえることができます。

7月末～8月の初旬にかけては「セミの羽化」を観察することができます。2～3時間かけてゆっくりと行われるその姿はとても神秘的で、

自然の摂理の偉大さに触れることができます。ただし、セミの羽化を見るためには下調べが肝心です。明るいうちに、「セミの抜け殻が多い木」や「根元にいくつも穴が空いている木」を探しておきましょう。また羽化は午後6時～7時ごろから始まることが多いので、子供が観察するときは、大人と一緒に



ウェブサイト
もあるよ！

すぎなみ学

検索

行動が必要です。虫刺され対策もお忘れなく。すぎなみ学倶楽部のウェブサイトでは「セミの羽化観察用ワークシート」をダウンロードできます。夏休みの自由研究にぜひお役立てください。(ひ)



毎月21日号は、「すぎなみ学倶楽部」から
ちょっといい話をお届けします。



63

野菜の宝石！ 杉並発のフルーツトマト

すぎなみ学倶楽部HPへ

八百屋さんやスーパーの野菜売り場でひととき鮮やかな色を放つ野菜と言えば、トマトです。トマトは、生でも加熱してもおいしく、食卓で大活躍。果実のように甘い「フルーツトマト」は子供にとっても人気ではないでしょうか？ 実は区内の農場でも、このフルーツトマトが栽培されています。

井草の森田信幸さんが営む「三幸園」では、約20年前からフルーツトマトの生産と直売を開始しました。トマトを作るためには、育苗・移植・定植などの作業のほか、葉の裏や茎についた害虫や病気のチェックが欠かせません。食の安全のため、森田さんの農園では化学肥料に頼らない栽培方法をとっています。これがおいしさの秘訣でしょうか。

区内の農事従事者は、昭和30年代を境

に減少しています。市場の大量流通システムに都市型の農業が対応しづらいことが原因のひとつに考えられています。そこで、森田さんは農園に隣接して直売所を設けたり、農家のホームページが数少なかった頃からインターネット販売を手がけるなど、工夫をしながら、農業を続けてきました。

また、区内小学校の社会科見学を受け入れ、食育の活動も行っています。子供たちにとって、森田さんの農場は驚きの連続。食卓に並ぶ野菜のイメージ

が大きく変わってくるはずですが、子供たちの目にはフルーツトマトは野菜の宝石のように映っているかもしれません。

すぎなみ学倶楽部のウェブサイトでは、区の農業に関する情報を掲載しています。ぜひご覧ください。(つ)



たいせつに育てられているんだわ

フルーツトマト
をさがす

すぎなみ学

検索



毎月21日号は、「すぎなみ学倶楽部」から
ちょっといい話をお届けします。



すぎなみ学倶楽部HPへ

みんな大好き！ 杉並の学校給食

お昼になると待ち遠しい学校の給食。小中学生の皆さんはもちろん、大人の方にもさまざまな思い出として刻まれていると思います。

区のはじめての給食は、第二次世界大戦末期の昭和19年、小学校向けに特別配給された味噌と米によるものだと言われています。終戦直後は、国内の物資が不足したため、海外からの支援物資を使って児童に給食が提供されました。また、昭和29年に学校給食法が施行され、「食への理解をはぐくみ、社交性も養う」という教育的な役割も担うようになりました。

半世紀を経て、給食の献立は、驚くような進化をとげました。中でも子どもたちに人気なのが「キムチチャーハン」です。区内では平成12年の登場以来、給食

の人気メニュートップ3の常連となっています。

一方、今では食べることができなくなったメニューもあります。「昭和の給食」では定番の鯨を使った献立が挙げられます。鯨の竜田揚げのほか、鯨のノルウェー煮などが給食に登場していました。現代では「幻のメニュー」となっています。

そんな給食を支える栄養士は、定期的に会議を設け、新たな献立や食育に関する研究活動を行っています。区内産の野菜を使った献立づくりやバイキング給食なども、この取り組みの中から生まれました。

すぎなみ学倶楽部のウェブサイトでは、学校給食に関する情報を掲載しています。新学期の話題に、親子でお楽しみください。(つ)



ウェブサイト
もあそびよ！

すぎなみ学

検索



毎月21日号は、「すぎなみ学倶楽部」から
ちょっといい話をお届けします。

ゴールデンウィークにおすすめ 荻窪文学散歩

「子らの衣 皆あたらしく美しき皁月
一日 花あやめ咲く」

与謝野晶子が、歌人として活動しながら育兒に励んでいたところに詠んだ歌です。子どもたちも草花もいきいきと育つ、爽やかな五月の雰囲気が伝わってきます。

今年も、杉並の街や公園で、八重桜やつつじなど色鮮やかな花々が目を楽しませてくれる季節がやってきました。自然と触れ合いながら、身近な文学散歩に出かけてみませんか？ 荻窪駅から徒歩で行ける施設を紹介します。

まずは、1年前に開園した与謝野公園。与謝野晶子・鉄幹夫妻が晩年を過ごした住居跡を整備して造られた公園で、二人が好んだ樹木が植栽されています。また、14基の歌碑が建立されており、冒頭で紹介した晶子の歌もその一つ。公園

に程近い与謝野晶子サロンでは、歌碑案内や夫妻ゆかりの品々が展示されています。

角川庭園・幻戯山房「すぎなみ詩歌館」でも詩歌と親しむことができます。こちらは、角川書店の創立者・角川源義氏の旧邸宅。書斎風の展示室があり、氏の直筆の短冊などが飾られています。広い庭には、俳句の季語となる樹木が数多く植えられているので、自作の句を詠んでみるのも一興。

荻窪にはこのほか、作家や詩人のモニュメントが飾られている読書の森

公園、文学音楽評論家の大田黒元雄氏の屋敷跡地に作られた大田黒公園などがあります。詳しい情報は、ウェブサイトすぎなみ学倶楽部の「駅別まち自慢」コーナーをご覧ください。区内のほかの地域の紹介も充実しています。(西)



ウェブサイト
おすすめ!

すぎなみ学

検索